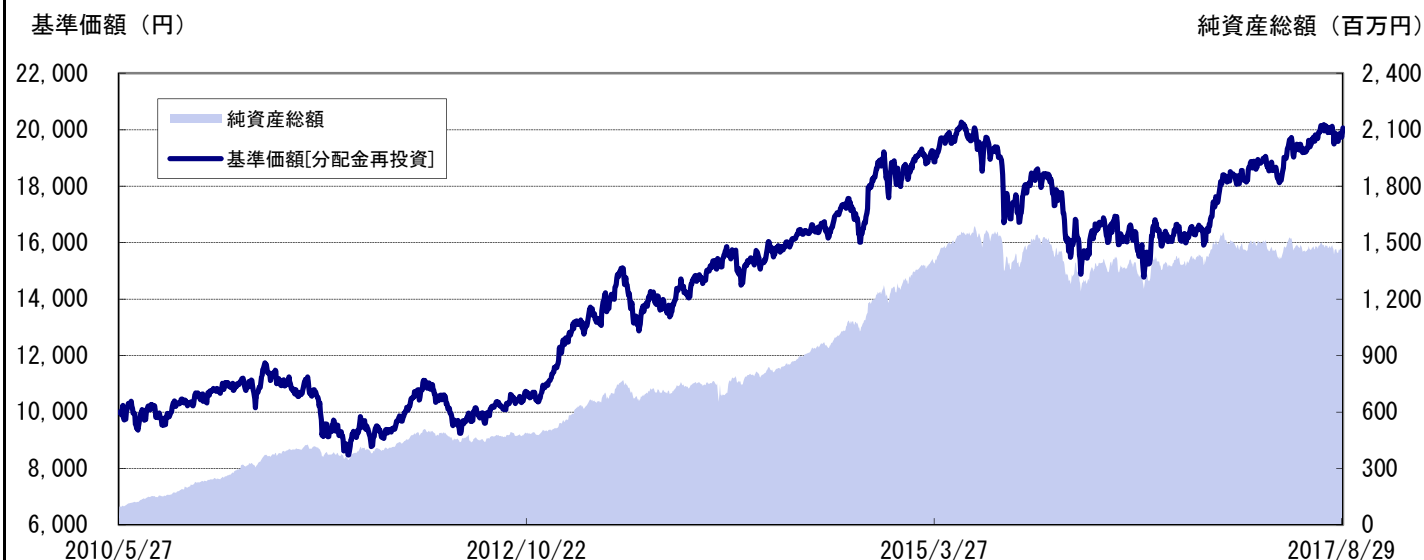


マネックス資産設計ファンド エボリューション

追加型投信/内外/資産複合
2017年8月31日基準

運用実績の推移



(設定日：2010年5月28日)

基準価額[分配金再投資]は、税引前の分配金を再投資したものと計算していますので、実際の基準価額とは異なります。

基準価額[分配金再投資] = 前日基準価額[分配金再投資] × (当日基準価額 ÷ 前日基準価額)

(※決算日の当日基準価額は税引前分配金込み)

基準価額は設定日前日を10,000として計算しています。

基準価額は信託報酬控除後です。なお、信託報酬率は「お客様にご負担いただく費用について」をご覧ください。

上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

騰落率(税引前分配金再投資)

1か月 (2017/07/31)	3か月 (2017/05/31)	6か月 (2017/02/28)	1年 (2016/08/31)	2年 (2015/08/31)	3年 (2014/08/29)
0.84%	3.98%	7.64%	21.99%	13.11%	18.12%

※1 騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと算出していますので、実際の投資家利回りとは異なります。

※2 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

※3 各期間は、基準日から過去に遡っています。

基準価額・純資産総額

基準価額	20,068 円
解約価額	20,008 円
純資産総額	1,483 百万円
設定日	2010年5月28日
決算日	原則として毎年1月11日

※基準価額および解約価額は1万口当たり

分配金実績(税引前)

※直近3年分

第5期	(2015.01.13)	0 円
第6期	(2016.01.12)	0 円
第7期	(2017.01.11)	0 円
設定来累計分配金		0 円

※1 分配金は1万口当たり

※2 上記の分配金は過去の実績であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

※3 分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

マザーファンドの組入状況

マザーファンド	98.2%
現金等	1.8%
合計	100.0%

※比率は純資産総額に対する割合です。

※ 当資料は8枚ものです。

※ P.8の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。



アセットマネジメントOne株式会社

マネックス資産設計ファンド エボリューション

2017年8月31日基準

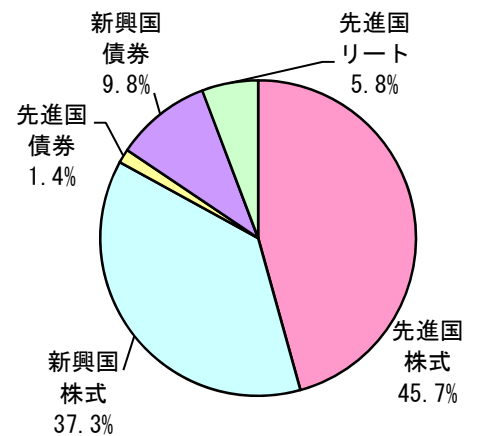
目標ポートフォリオ決定プロセス

資産	国および地域	基本ポートフォリオ	月末時価評価基本ポートフォリオ	資産配分比率の変更	国別配分比率の変更	目標ポートフォリオ
先進国株式	日本	4.2%	4.2%	-2.0%	0.0%	4.0%
	米国	28.9%	27.8%		0.0%	26.6%
	欧州	11.0%	11.2%		0.0%	10.7%
	その他	4.0%	3.8%		0.0%	3.6%
	計	48.0%	47.0%		0.0%	45.0%
新興国株式		33.0%	34.7%	+2.0%	—	36.7%
先進国債券	日本	1.1%	1.0%	-2.0%	0.0%	0.6%
	米国	1.7%	1.6%		0.0%	1.0%
	欧州	1.9%	2.0%		0.0%	1.2%
	その他	0.3%	0.2%		0.0%	0.1%
	計	5.0%	4.9%		0.0%	2.9%
新興国債券		8.0%	7.7%	+2.0%	—	9.7%
先進国リート		6.0%	5.7%	0.0%	—	5.7%
合計		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

- ※1 基本ポートフォリオおよび月末時価評価基本ポートフォリオはイボットソン・アソシエイツ・ジャパンのデータを基に作成しています。
- ※2 目標ポートフォリオについては決定プロセスに基づいて計算した数値であり、実際のファンドの状況とは異なります。
- ※3 原則として、資産配分比率の変更はマザーファンド受益証券の売買で調整し、国別配分比率の変更は各国の株価指数先物および債券先物の買い持ち、売り持ちポジションを構築することで調整します。

ポートフォリオの構成（5資産分類）

資産	比率	マザーファンド	比率
先進国株式	45.7%	国内株式パッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド	4.1%
		外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド	41.6%
新興国株式	37.3%	エマージング株式パッシブ・マザーファンド	37.3%
先進国債券	1.4%	国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	0.3%
		外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	1.2%
新興国債券	9.8%	エマージング債券パッシブ・マザーファンド	9.8%
先進国リート	5.8%	J-REITインデックスファンド・マザーファンド	0.4%
		外国リート・パッシブ・ファンド・マザーファンド	5.4%



※比率は組入れているマザーファンドの時価評価額の合計に対する割合です。

先物取引の内容

基準日現在、ベビーファンド「マネックス資産設計ファンド エボリューション」において先物取引残高はありません。

- ※1 先物取引の内容はベビーファンド「マネックス資産設計ファンド エボリューション」についてのみ表示しています。
- ※2 比率はベビーファンド「マネックス資産設計ファンド エボリューション」の純資産総額に対する割合です。

※ 当資料は8枚ものです。
 ※ P.8の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。



アセットマネジメントOne 株式会社

マネックス資産設計ファンド エボリューション

2017年8月31日基準

当月のマーケット動向

【国内株式】国内株式市場は小幅な下落となりました。企業の決算発表が一巡し概ね良好な内容となったこと等が好感されたものの、北朝鮮情勢の緊迫化や外国株式市場が上値の重い動きとなったこと等が嫌気され、前月に続いてこう着感の強い推移となりました。

【国内債券】国内債券市場では、国債利回りは低下(価格は上昇)しました。海外の国債利回りが低下したことや、国債入札が順調な結果となったこと、北朝鮮情勢が緊迫化したこと等を背景に10年国債利回りは月を通して低下基調で推移しました。

【外国株式】外国株式市場は、概ね横ばいとなりました。米欧とも企業の決算発表が一巡し概ね良好な内容となったものの、米国市場では北朝鮮情勢の緊迫化や米国の債務上限引き上げ問題への懸念が重しとなり、また欧州ではスペインでのテロ発生による地政学リスクの高まりやユーロ高が重しとなり、米欧市場は揉み合う動きとなりました。

【外国債券】外国債券市場では、国債利回りは概ね低下(価格は上昇)しました。北朝鮮情勢の緊迫化や、スペインでのテロ発生による地政学リスクの高まり、米国の政権運営の先行き不透明感とそれに伴う債務上限引き上げ問題への懸念、テキサス州へのハリケーンの上陸に対する懸念等を背景に米独の10年国債利回りは月を通して低下基調で推移しました。

【外国リート】外国リート市場は、主要国債利回りの低下が下支えした一方、北朝鮮情勢の緊迫化やスペインでのテロ発生による地政学リスクの高まりが悪材料視されたほか、オンライン小売の台頭による店舗用不動産市場への悪影響が懸念されたこと等を背景に下落しました。

【国内リート】国内リート市場は、国債利回りの低下が下支えした一方、北朝鮮情勢の緊迫化等が嫌気されたことや投資信託からの資金流出による需給悪化から下落する結果となりました。

【新興国株式】新興国株式市場はまちまちの動きとなりました。北朝鮮情勢の緊迫化等を背景に韓国市場が下落した一方、好調な決算発表や国有企業の改革期待等を背景に中国や香港市場が上昇、またハイテク産業の成長継続期待から台湾市場が上昇しました。

【新興国債券】組入れている新興国の債券利回りは低下しました。ベースとなる米国の長期金利は、北朝鮮情勢の緊迫化等を背景に低下しました。一方、対米国債スプレッドは、原油が下落したこと等を背景に一部の産油国では拡大する一方で消費国では縮小するなど、国によってまちまちの結果となりました。

【為替】ドル/円相場は、北朝鮮情勢や強弱入り混じる米国の経済指標に振られて1ドル=110円を挟んだ小動きの推移となり、前月末比では概ね横ばいとなりました。またユーロは、堅調な経済指標等を材料に金融政策の正常化への思惑が継続したこと等を背景に一時は1ユーロ=1.20ドルを突破するなど主要通貨に対して上昇し、ユーロ/円相場についても円安ユーロ高の動きとなりました。

実績リターン(前月末比騰落率)

ファンド	基本ポートフォリオ※	差
0.84%	0.86%	-0.02%

※基本ポートフォリオの騰落率は時価評価後ポートフォリオの騰落率であり、イボットソン・アソシエイツ・ジャパンのデータを基に作成しています。

当月のファンドの動き

8月は、新興国優位の動きを想定し、新興国株式・債券のオーバーウェイト、先進国株式・債券のアンダーウェイトを基本としつつ、一時的に新興国株式のオーバーウェイト、先進国株式のアンダーウェイトを解消するなど、機動的にポジションを調整しました。

当ファンドの8月末の基準価額は前月末比で0.84%の上昇となりました。資産配分効果は、新興国株式・債券のオーバーウェイトなどがプラス寄与となりました。

今後のマーケットの見通し

世界景気が全体としては加速感に欠く低成長が続くなかで、先進国株式は、当面は地政学リスクに振られながらも米国のトランプ政権の経済政策や共和党議会の財政に対する姿勢、欧米の金融正常化のペースを確かめながらの推移になると想定しております。また中期的には景況感や政治動向を吟味しながら概ね企業業績の動向に沿った展開になると予想しています。

新興国株式は、先進国に比べるとその成長性に期待が持てることから、中期的に市場はその成長性に沿った動きを辿るものと考えておりますが、当面は米国の保護主義的な経済政策に対する懸念や、米国の金融政策の正常化に伴う新興国からの資金流出懸念、中国の金融・経済政策等に左右されやすい展開を想定しています。

先進国債券は、景気回復は加速感に欠くことから、米国の利上げについては慎重なペースで実施されると見られるものの、欧米の量的緩和の縮小をきっかけとした債券需給の変化に伴う金利上昇について、中期的な視点からの警戒は必要と考えております。

新興国債券は、先進国債券に比べて利回りが高いことを背景に市場の変動性が低い局面では底堅く推移すると想定していますが、新興国からの資金流出懸念や原油相場に左右されやすい展開を想定しています。

先進国リートは、長期金利の上昇による資金調達コストの上昇懸念や相対的な利回りへの魅力度の後退には引き続き注意が必要な一方、金利が現状水準で安定的に推移すれば高利回り資産への根強い需要から上昇も期待できると想定しています。

※上記のマーケット動向と当ファンドの動きは、過去の実績であり将来の運用成果等をお約束するものではありません。また、見通しと運用方針は、作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等により当該運用方針が変更される場合があります。

※ 当資料は8枚ものです。
 ※ P.8の「当資料のお取り扱いについてのご注意」をご確認ください。

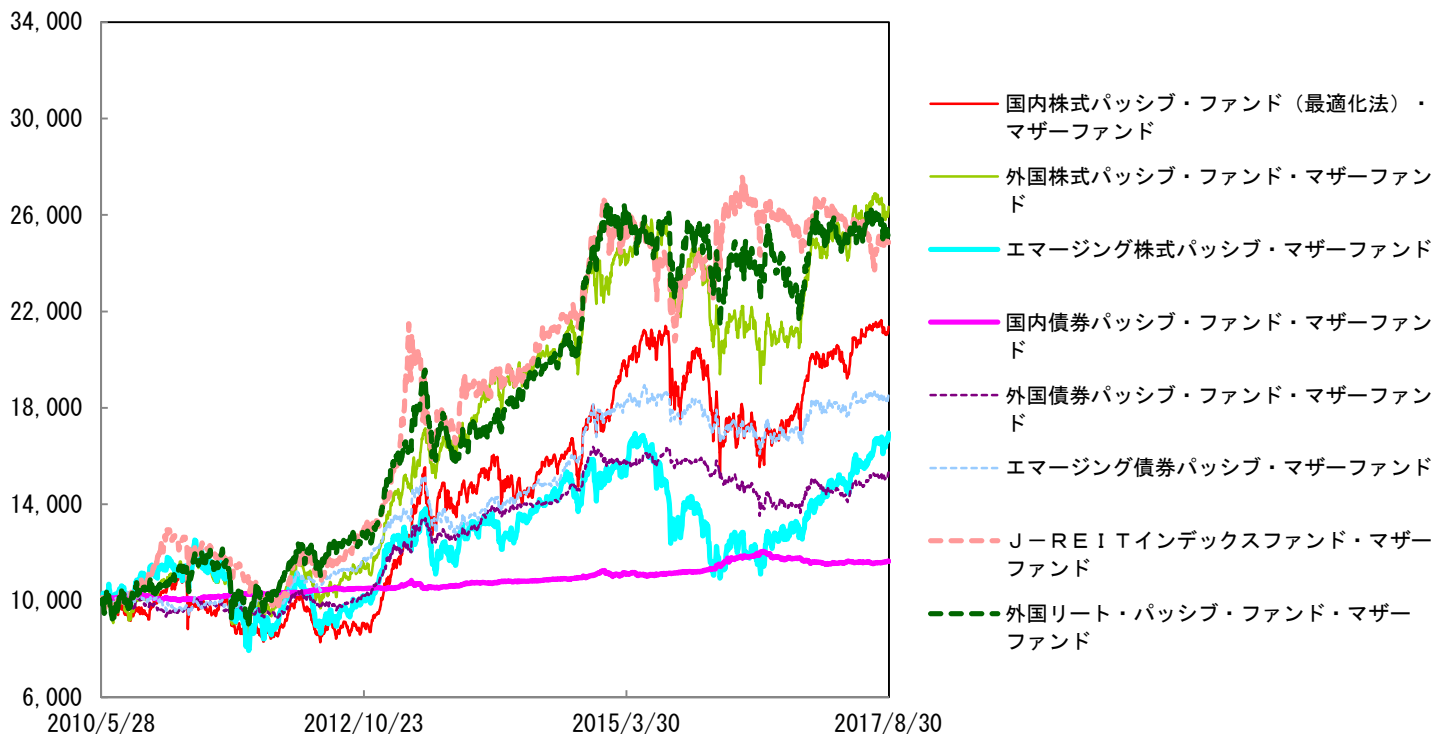


アセットマネジメントOne 株式会社

マネックス資産設計ファンド エボリューション

2017年8月31日基準

各マザーファンドの基準価額の推移



※1 基準価額はマネックス資産設計ファンド エボリューションの設定日（2010年5月28日）を10,000として計算しています。
 ※2 外国リート投資対象マザーファンドは、2016年4月13日に「グローバルリート・パッシブ・ファンド・マザーファンド」から「外国リート・パッシブ・ファンド・マザーファンド」に変更しました。外国リートのグラフについては、連続性を持たせるため実際のマザーファンドの計上日を考慮して以下のように計算しています。
 ①【2010年5月28日～2016年4月14日】「グローバルリート・パッシブ・ファンド・マザーファンド」の基準価額を基に、2010年5月28日を10,000として指数化。
 ②【2016年4月15日以降】「外国リート・パッシブ・ファンド・マザーファンド」の基準価額を基に、2016年4月14日の①の数値を基準として指数化。

●東証株価指数(TOPIX)および東証REIT指数は、株式会社東京証券取引所(株東京証券取引所)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株東京証券取引所)が有しています。なお、本商品は、(株東京証券取引所)により提供、保証又は販売されるものではなく、(株東京証券取引所)は、ファンドの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

●MSCIロクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が公表しているインデックスで、当指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に属しており、また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●NOMURA-BPI総合は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

●シティ世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利はシティグループ・インデックスLLCに帰属します。

●JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

●Standard & Poor's®並びにS&P®は、スタンダード&プアーズ・ファイナンシャル・サービスーズLLC(以下「S&P」)の登録商標です。Dow Jones®は、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングズLLC(以下「ダウ・ジョーンズ」)の登録商標です。これらはS&P ダウ・ジョーンズ・インデックスLLCに対して使用許諾が与えられており、委託会社に対しては特定の目的のために使用するサブライセンスが与えられています。S&P 先進国 REITインデックスはS&P ダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが所有しており、委託会社に対して使用許諾が与えられています。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスLLC、ダウ・ジョーンズ、S&Pおよびその関連会社は、委託会社の商品を支持、推奨、販売、販売促進するものではなく、また投資適合性についていかなる表明をするものではありません。

※ 当資料は8枚ものです。
 ※ P.8の「当資料のお取り扱いについてのご注意」をご確認ください。



アセットマネジメントOne株式会社

マネックス資産設計ファンド エボリューション

2017年8月31日基準

各マザーファンドの騰落率

国内株式パッシブ・ファンド（最適化法）・マザーファンド

	1か月 (2017/07/31)	3か月 (2017/05/31)	6か月 (2017/02/28)	1年 (2016/08/31)	2年 (2015/08/31)	3年 (2014/08/29)
ファンド	-0.05%	3.28%	6.53%	24.29%	9.80%	34.49%
ベンチマーク	-0.05%	3.35%	6.53%	24.31%	9.82%	34.55%

※ベンチマークは、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）です。

外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド

	1か月 (2017/07/31)	3か月 (2017/05/31)	6か月 (2017/02/28)	1年 (2016/08/31)	2年 (2015/08/31)	3年 (2014/08/29)
ファンド	-0.38%	1.96%	5.26%	23.85%	12.72%	27.02%
ベンチマーク	-0.32%	2.04%	5.36%	24.17%	13.44%	28.08%

※ベンチマークは、MSCIコクサイ・インデックス（円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし）です。

エマージング株式パッシブ・マザーファンド

	1か月 (2017/07/31)	3か月 (2017/05/31)	6か月 (2017/02/28)	1年 (2016/08/31)	2年 (2015/08/31)	3年 (2014/08/29)
ファンド	2.56%	8.17%	15.36%	32.26%	26.60%	13.50%
ベンチマーク	2.60%	8.34%	15.51%	32.92%	27.54%	15.51%

※ベンチマークは、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし）です。

国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド

	1か月 (2017/07/31)	3か月 (2017/05/31)	6か月 (2017/02/28)	1年 (2016/08/31)	2年 (2015/08/31)	3年 (2014/08/29)
ファンド	0.54%	0.27%	0.43%	-1.21%	4.49%	6.55%
ベンチマーク	0.54%	0.27%	0.44%	-1.21%	4.50%	6.56%

※ベンチマークは、NOMURA-BPI総合です。

外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド

	1か月 (2017/07/31)	3か月 (2017/05/31)	6か月 (2017/02/28)	1年 (2016/08/31)	2年 (2015/08/31)	3年 (2014/08/29)
ファンド	1.43%	3.29%	5.49%	7.97%	-3.05%	6.39%
ベンチマーク	1.49%	3.31%	5.33%	8.01%	-2.89%	6.56%

※ベンチマークは、シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース、為替ヘッジなし）*です。

*シティ世界国債インデックス（除く日本）のドルベース指数を委託会社が円換算したものです。

エマージング債券パッシブ・マザーファンド

	1か月 (2017/07/31)	3か月 (2017/05/31)	6か月 (2017/02/28)	1年 (2016/08/31)	2年 (2015/08/31)	3年 (2014/08/29)
ファンド	1.45%	1.86%	3.02%	8.32%	3.92%	20.71%
ベンチマーク	1.83%	1.16%	2.87%	10.22%	9.17%	24.29%

※ベンチマークは、JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（円換算ベース・為替ヘッジなし）です。

J-REITインデックスファンド・マザーファンド

	1か月 (2017/07/31)	3か月 (2017/05/31)	6か月 (2017/02/28)	1年 (2016/08/31)	2年 (2015/08/31)	3年 (2014/08/29)
ファンド	-0.98%	-2.52%	-5.53%	-4.00%	10.67%	13.25%
ベンチマーク	-0.97%	-2.52%	-5.56%	-4.12%	10.68%	13.27%

※ベンチマークは、東証REIT指数（配当込み）です。

外国リート・パッシブ・ファンド・マザーファンド

	1か月 (2017/07/31)	3か月 (2017/05/31)	6か月 (2017/02/28)	1年 (2016/08/31)	2年 (2015/08/31)	3年 (2014/08/29)
ファンド	-0.65%	2.22%	-0.71%	5.60%	6.51%	23.69%
ベンチマーク	-0.66%	2.35%	-0.54%	6.19%	7.97%	26.10%

※ベンチマークは、S&P先進国 REIT インデックス（除く日本、円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし）です。

※当資料中の各数値については、表示桁未満の数値がある場合、四捨五入して表示しています。

※ 当資料は8枚ものです。

※ P.8の「当資料のお取り扱いについてのご注意」をご確認ください。



アセットマネジメントOne株式会社

マネックス資産設計ファンド エボリューション

2017年8月31日基準

ファンドの特色(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

信託財産の中長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。

- 世界の株式、債券、リートを実質的な投資対象とし、分散された基本ポートフォリオを構築します。
投資対象とするマザーファンドは、先進国株式(国内株式パッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド、外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド)、新興国株式(エマージング株式パッシブ・マザーファンド)、先進国債券(国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド、外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド)、新興国債券(エマージング債券パッシブ・マザーファンド)、先進国リート(J-REITインデックスファンド・マザーファンド、外国リート・パッシブ・ファンド・マザーファンド(*)です。
※基本ポートフォリオの資産配分比率の決定にあたっては、イボットソン・アソシエイツ・ジャパンの投資助言を受けます。
- 投資対象に新興国資産を加えることで、相対的に高いリターンを狙います。
- 基本ポートフォリオの推定リスク水準は原則として日本株投資と同程度としつつも、世界の複数資産へ高度な分散投資を行うことにより、効率の良い運用をめざします。
- 経験豊富な運用チームによるアクティブアセットアロケーション運用により、超過収益の獲得をめざします。
- 運用管理費用(信託報酬)は1.08%(税込)とし、購入時手数料はノーロードと低コストでご提供します。
- 資金動向、市況動向等によっては、上記の運用ができない場合があります。

主な投資リスクと費用(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、下記の主な変動要因により、基準価額が下落し、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。当ファンドの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。

なお、基準価額の変動要因は、下記に限定されるものではありません。その他の留意点など、くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

- 資産配分リスク …… 当ファンドの実質資産配分において、収益率の悪い資産への配分比率が大きい場合、基準価額が下がる場合があります。
- 株価変動リスク …… 当ファンドは、実質的に株式に投資をしますので、株式市場の変動により基準価額が上下します。また、新興国の株式に投資する場合、先進国の株式に比べ株価変動リスクが大きくなる傾向があります。
- 金利リスク …… 一般的に金利が上昇すると債券、リーートの価格は下落します。当ファンドは、実質的に債券、リートに投資をしますので、金利変動により基準価額が上下します。新興国の債券に投資する場合、先進国の債券に比べ金利リスクが大きくなる傾向があります。
- リーートの価格変動リスク …… リートの価格は、リートが投資対象とする不動産等の価値、当該不動産等による賃貸収入の増減、不動産市況の変動、景気や株式市況等の動向などによって変動します。
当ファンドは、実質的にリートに投資をしますので、これらの影響を受け、基準価額が上下します。
- 為替リスク …… 当ファンドは、実質組入外貨建資産について原則として対円で為替ヘッジを行わないため為替変動の影響を受けます。このため為替相場が当該実質組入資産の通貨に対して円高になった場合には基準価額が下がる要因となります。新興国の通貨に投資する場合、先進国の通貨に比べ為替リスクが大きくなる傾向があります。
- 信用リスク …… 当ファンドが実質的に投資する株式、債券の発行者が経営不安・倒産に陥った場合、当ファンドが実質的に投資するリートが、収益性の悪化や資金繰り悪化等により清算される場合、またこうした状況に陥ると予想される場合等には、投資した資産の価格が下落したりその価値がなくなることがあり、基準価額が下がる要因となります。新興国債券、株式に投資する場合、先進国債券、株式に比べ信用リスクが大きくなる傾向があります。
- 流動性リスク …… 当ファンドにおいて有価証券等を実質的に売却または取得する際に、市場規模、取引量、取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合には、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないことや、値動きが大きくなる場合があります。基準価額に影響をおよぼす可能性があります。新興国債券、株式に投資する場合、先進国債券、株式に比べ流動性リスクが大きくなる傾向があります。
- カントリーリスク …… 当ファンドの実質的な投資対象国・地域における政治・経済情勢の変化等によっては、運用上の制約を受ける可能性があります。また、実質的に投資を行う新興国の通貨や株式、債券の発行者が属する国の経済状況は、先進国経済と比較して一般的に脆弱である可能性があります。そのため、当該国のインフレ、国際収支、外貨準備高等の悪化などが為替市場や株式、債券市場に及ぼす影響は、先進国以上に大きいものになることが予想されます。さらに、政府当局による海外からの投資規制や課徴的な税制、海外への送金規制などの種々な規制の導入や政策の変更等の要因も為替市場や株式、債券市場に著しい影響を及ぼす可能性があります。
- 有価証券(指数)先物取引に伴うリスク …… 当ファンドは、有価証券(指数)先物取引を使用するため、有価証券(指数)先物取引の価格変動により基準価額が上下します。先物の価格は、対象証券または指数の値動き、先物市場の需給等を反映して変動します。先物を買建てている場合において、先物価格が上昇すれば収益が発生し、下落すれば損失が発生します(売建てている場合は逆の結果となります。)。また、有価証券(指数)先物取引の値動きと市場全体の値動きは一致しない場合があります。

当ファンドへの投資に伴う主な費用は、運用管理費用(信託報酬)などです。

費用の詳細につきましては、当資料中の「お客様にご負担いただく費用について」および投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※ 当資料は8枚ものです。

※ P.8の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。



アセットマネジメントOne 株式会社

マネックス資産設計ファンド エボリューション

2017年8月31日基準

お申込みメモ(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

購入単位	各販売会社が定める単位(当初元本:1口=1円)
購入価額	お申込日の翌営業日の基準価額とします。
購入代金	お申込みをされた販売会社が定める所定の日までに購入代金を販売会社に支払うものとします。
換金単位	各販売会社が定める単位
換金価額	換金のお申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額とします。
換金代金	原則として換金のお申込日より起算して6営業日目から支払います。
申込締切時間	原則として販売会社の毎営業日の午後3時までとします。
購入・換金不可日	ニューヨーク証券取引所、ロンドン証券取引所、ニューヨークの銀行、ロンドンの銀行のいずれかの休業日に該当する日には、購入・換金のお申込みの受付を行いません。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求に制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消す場合があります。
信託期間	2020年1月14日までです。(設定日:2010年5月28日)
繰上償還	次のいずれかに該当する場合には、受託会社と合意の上、信託契約を解約し、当該信託を終了する場合があります。 ①受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合。 ②受益者のために有利であると認めるとき。 ③やむを得ない事情が発生したとき。
決算日	原則として毎年1月11日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回、毎決算日に収益分配方針に基づき、収益分配を行います。 ※税引後、無手数料で自動的に全額が再投資されます。(自動けいぞく投資専用)
課税関係	課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。 ※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。 ※税法が改正された場合等には、上記内容が変更となる場合があります。

お客様にご負担いただく費用について(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

以下の手数料等の合計額等については、保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。
詳細については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となる場合があります。
※上場不動産投資信託(リート)は市場の需給により価格形成されるため、上場不動産投資信託(リート)の費用は表示しておりません。

●購入時	
購入時手数料	ありません。
●換金時	
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	換金申込日の翌営業日の基準価額に0.3%を乗じて得た額とします。
●保有期間中(信託財産から間接的にご負担いただきます。)	
運用管理費用(信託報酬)	信託財産の純資産総額に対して年率1.08%(税抜1.0%)を日々ご負担いただきます。
その他費用・手数料	組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、信託事務の諸費用、監査費用、外国での資産の保管等に要する諸費用等が信託財産から支払われます。(その他費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。)

※ 当資料は8枚ものです。
※ P.8の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。



アセットマネジメントOne 株式会社

マネックス資産設計ファンド エボリューション

2017年8月31日基準

投資信託ご購入の注意

投資信託は、

- ① 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
- ② 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
- ③ 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

当資料のお取扱についてのご注意

- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成した販売用資料です。
- お申込みに際しては、販売会社からお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとする基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。
- 当資料における内容は作成時点(2017年9月11日)のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
- 当ファンドは、実質的に株式、債券、不動産投信(リート)等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

◆分配金に関する留意点◆

- 収益分配は、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。))を超えて行われる場合があります。したがって、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 受益者の個別元本の状況によっては、分配金の全額または一部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。個別元本とは、追加型投資信託を保有する受益者毎の取得元本のことで、受益者毎に異なります。
- 分配金は純資産総額から支払われます。このため、分配金支払い後の純資産総額は減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。計算期間中の運用収益以上に分配金の支払いを行う場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。

◆ファンドの関係法人◆

- <委託会社>アセットマネジメントOne株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号
加入協会:一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
- <受託会社>みずほ信託銀行株式会社
- <販売会社>販売会社一覧をご覧ください
- <投資顧問会社>イボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社

◆委託会社の照会先◆

- アセットマネジメントOne株式会社
コールセンター 0120-104-694
(受付時間:営業日の午前9時~午後5時)
- ホームページ URL <http://www.am-one.co.jp/>

販売会社(お申込み、投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください)

○印は協会への加入を意味します。

2017年9月11日現在

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問 業協会	一般社団法人 金融先物取引 業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会	備考
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	○	○	○		

●その他にもお取扱を行っている販売会社がある場合があります。

また、上記の販売会社は今後変更となる場合があるため、販売会社または委託会社の照会先までお問い合わせください。

<備考欄について>

- ※1 新規募集の取扱いおよび販売業務を行っておりません。
- ※2 備考欄に記載されている日付からのお取扱いとなりますのでご注意ください。
- ※3 備考欄に記載されている日付からお取扱いを行いませんのでご注意ください。

(原則、金融機関コード順)

※ 当資料は8枚ものです。



アセットマネジメントOne株式会社